

# 吉野ヶ里こども園の教育・保育とは！？

－10月、文字は教えるまえに遊びの中で文字に興味を持たせる！－

園長 山崎立哉

秋晴れの続く爽やかな時節となりました。葡萄、梨、柿、栗等秋の果物が美味しい季節でもあり、また、秋の夜長に本を読むにも最適です。この秋、子どもたちに絵本を読む機会をぜひ多くとっていただきたいと思います。

絵本の読み聞かせは、子どもが文字に興味、関心をもつのに最適です。子どもたちの言葉の発達のプロセス（過程）は、まず、人の話（言葉）を聞く、子どもが言葉を話す、子どもが文字を読む、子どもが文字を書くの順番で言葉（文字）を獲得していきます。

こども園では、毎月購入していただいている月間絵本の読み聞かせを行っています。0歳児のまだ言葉も喋らない乳幼児から、いっぱい言葉のシャワーを浴びせ（子どもに話しかける）絵本の読み聞かせをします。見せる絵本は、なるべく絵がハッキリしたものです。1歳児になれば絵本に短い言葉があるものを選び、2歳児になると絵本に短い文のあるものを選んでいきます。3歳児以降は、ストーリー性のあるものや、昆虫や植物、動物等の図鑑を置いています。4、5歳児になると、科学に興味を持つように科学の絵本も置いています。子どもたちは自由に好きな絵本を選んで読み、保育者は毎日お帰りの前の時間には、絵本や紙芝居の読み聞かせを行っています。

また、乳幼児の頃から手遊びをすることが文字に興味をもつことに最適で、こども園ではわらべうたを行っています。わらべうたで楽しく遊ぶことで言葉に興味を持っていきます。3歳児以降になると、しりとり遊びやかるた、パズル等の遊びの中で文字に興味を持ち、4、5歳児になると、ひらがな表を保育室に張ったり、お手紙遊びして文字を書いたりします。先月、敬老の日にお祖父ちゃんやお祖母ちゃんへ葉書を書いて、近くのポストへ出して来ました。特に5歳児は、来年度小学1年生になるということで、もじかずランドの教材を取り入れ、自分の名前や五十音の言葉を書けるよう保育の中で行っています。

ご家庭でも、お子様が夜寝る前などに絵本の読み聞かせやわらべうたしていただき、言葉や文字に興味、関心を持たせてほしいと思います。そうすると、子どもたちは言葉や文字に興味を持ち、自然に文字を読み書くことができるようになるでしょう。